

多文化分科会から
全体集会へ

つなぎなおす
協同するとは

2021年9月～2022年3月

2021 協同集会 In 東海

つなぎなおす
ともに生き、ともにたたく～「協同による新しい日常」

多文化分科会
主催者・申し込み88名

日時：2022年1月23日（日）
10時～15時

オンライン開催

私たちは2014年から3回にわたり「協同集会」を開催してきました。「協同」とは何か、その価値や可能性を自らの住む地域に引き付け、「ともに生き、ともにたたく」をテーマに、集会に参加する人々と「働きづらさ」「生きづらさ」「貧困と格差」「孤立」等、様々な社会課題、地域課題に取り組む人々の実践から学び、未来を探求することを重ねてきました。

2020年、新型コロナウイルスによるパンデミックが起



午前の部から

一人は
「多文化」という人生や学齢期に
どう生きているのか。

高齢者生協や自主夜間中学では
誰が「多文化コミュニティ」をつくっているか
全体像を具体的事例を通じて知る。

第一部 東海地域・多文化社会の現状と協同

山田怜南さん

日本とブラジル 二重国籍

自己との対話

ノート（今・将来 不安 解決策・・・）自己理解

自己対話

上江洲恵子さん

特別な力を持った人たち

言葉・情報・文化・制度

新垣ウエンディさん

日本人利用者が多い

相談・介護・連携

共同実践

笹山悦子さん

日本語教育が必要な人

進学・中退・就職・非正規

日本の教育制度と支援制度

取り残され・孤立する大人

地域連携

大橋さん

ライフサイクルに応じた支援 制度のなか・日本人仕様

協同組合には、制度のもれを掴む力がある

外国人が支援者（協同組合的！）

キャリア形成へのメソッドを協同して次世代へ

JUNTOS

午後の部から

- 当事者の歩み・協同組織・海外ルーツの人たちの報告。海外ルーツの人たちが、「日本」の戦後史において、自ら何を解決してきたのか、協同の力でどう解決してきたか。
- 「グローバル化」を迎えた日本ではどのような課題に直面しているのか。
- 解決のためにはなにが必要か。協同（組合）が力を発揮できる特質や要件はなにかを考える。

第二部 多文化社会への道

懇談会

過去の歴史を振りかえり
本質をふまえることが 多文化行政

・王 榮さん 3-40代で残留・思春期で引き揚げ 自立（公助）
資格再取得・夜間中学・定時制・進学 後輩へ
二世は国に訴訟 人権（高齢期）のための「異文化介護・終活」

・李正光さん 労働力不足から併合・日本へ、戦後・朝鮮半島出身
母国語を習得（帰国指向、定住指向か）
結社・コミュニティ・相互扶助へ

協同組合は、法人（団体）か
協同して問題解決に取り組む組織（理念）

共通点が大切
いろいろな国の人
日本人を含む地域社会

課題に向かう自分史をとおした つなぎなおし

- 金城ナヤラナツミさん

1997年日本へ小2で **社会福祉士（多文化SW） 架け橋に**
児童発達支援事業で 子どもと家族
「専門」職 ↔ 親（国）による受容の差

- サンディー玲さん

1990年日本で生まれる。「日本とアメリカの二重国籍者」
自分の悩み＝同じ悩みを解決すること
悩みを解決するための「協同組合」の選択肢

- チャウ・ティ・ミー・リンさん

2015年福岡市の大学・マレーシア・韓国で
共同作業所をつくったゆたか福祉会へ
フエ科学大学と3法人で福祉介護コースで
技能実習生受入れ、ベトナムの介護人材を育成。その架け橋に

コメント対談

和氣美奈さん（日本生活協同組合連合会 政策企画室）

- 環境・持続可能な発展。凡人あつまって非凡をなす。ILO（国際的に協同組合を推進するユニットへ）
 - ・法人形態にこだわらず、共通のニーズを見つける。
 - ・同質性が強くなる（保見のプロセスでは？）
 - ・外に踏み出す一歩が求められておいる。
- 事業で行うことで、地域にどう関わっていくのか。
資本主義的（効率追求）ではない、組織のあり方が求められている。
- 全国の生協で7.5万人の職員のなかで、外国籍の方が働いている。多様な人が力を生かせる組織に。
新しい協同組合を育成する中間支援的組織がある。地域と協同の研究センターに役割も。

藤井恵里さん（ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン）

- 当事者が生活課題を解決するために協同して、コミュニティが重層化することで解決する。
協同組合的地域社会ができる。
- 多様な相談が来ている。協同はいろいろな人の助け合い、背景や実情を知ることからスタートする。
東海発信で考えるスタートに！

意見交換・質疑

- 技能実習制度について
送り出し機関との関係を築き・監理団体
大学と協定を結んで日本語を習得して受け入れる。
法人が支払い、働く中で返済する（金額は月2万円程度）
- JICAの場で、事例の発信を！
- 歴史を知らなければ、砂上の楼閣となる。
- いろいろなセクターから、共感できること、バイアスの存在。
- 専門スタッフの採用は？（ブラジルで取得して・たまたま）
- ふつうに人間として生きていく上で（多文化は）大事なこと。
- 子どもをとおして、親や課程（社会）を知る力。
- 人としての共通点！

アンケートフォームで、感想・意見を！

多文化背景をもつ人たちによる多様な取り組みと協同がもたらす新しい社会

多文化背景を持つ人たちによる協同の取り組み、その実践と歴史から学び、多様性がもたらす新しい社会について考えます。

9/26 (日) 10:00~

生協文化会館&WEB



申し込みはこちらから→

はたらくってなに？

～働くを語り合おう座談会

「労働者協同組合法」成立を受けて「協同ではたらくネットワークあいち」が設立されました。

「協同ではたらく」とは何か？そもそもはたらくとは自分たちにとってどういうことか？を語り合います。

10/31 (日) 14:00~

申し込みはこちらから→



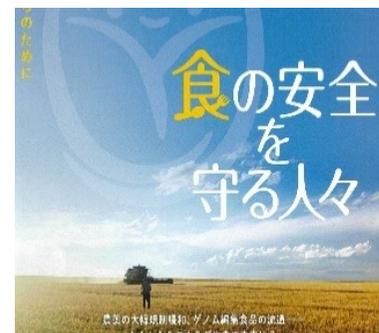
生活の中で工夫して自然を生かす体験

桑畑やヤギや鶏が暮らす自然の中で自然循環の仕事づくり・物づくりを体験し、将来の仕事について考えるきっかけを作ります。

11/28 愛知県美浜町 季の野の台所

※一般参加募集はしていません。

学校給食をオーガニックに (予定)



映画「食の安全を守る人々」を鑑賞し、若いお母さんたちが中心となり取り組まれている学校給食をオーガニックにする活動と、有機農業の課題を結び、未来を考えます。

12/18 (予定)

後日案内します。

子どもの学びの支援

2017協同集会in東海の分科会を契機に発足した、「地域における子どもの学びの支援共同研究会」が、学習支援の実践をより子どもたちの未来に資するものにするための議論を重ねています。今後の地域における学習・生活支援の課題と展望(筋道)を探ります。

12/26

後日、案内します。

学生と協同を学ぶ

大学で、市民活動や協同組合を学ぶ授業が行われています。これからの社会を支える若者・学生とともに「協同」の思考や文化を学び、交感しています。

名城大学 ボランティア入門
金城学院大学 協同組合論

労働者協同組合法・協同労働

労働者協同組合法制定記念YEAR

キックオフイベント 10/1

特設サイト→

協同労働実践交流集会

11/13-14

特設サイト→



世界の協同組合から学ぶ

ICA（国際協同組合同盟）ソウル大会 12/1-3
テーマ：協同組合のアイデンティティを深める

1月23日（日）全体会は、こうした新たな「協同（つなぎなおす）の日常」を持ち寄ります。

2021年度 連続セミナー

第1回 多文化社会における地域と人のつながり

日時：10月24日（日）13時30分～16時30分

会場：愛知県立大学サテライトキャンパス ウェブ（Zoom）開催



こちらのQRコードから
お申し込みください。

事例報告

愛知の中山間地域で
日系ブラジル人と農業と企業
Man to Man株式会社
マネージャー 村山グスタボ秀夫さん

フィリピンから三重県の過疎地域へ
ゲストハウス経営と
農業・地域とのつながり
ゲストハウスイロンゴ 倉田麻里さん

居宅介護支援事業所から地域へ
ソーシャルワークと多文化共生
一般社団法人ケアプランモーメント
代表 金順愛さん

コメント

J Aひまわり
今泉秀哉さん

コープみえ
妹尾成幸さん

長野県高齢者
生活協同組合
田中夏子さん

ディスカッション

多文化社会における地域と
人のつながり方

田中夏子さん
(協同組合研究者)

神田すみれさん
(多文化ソーシャルワーカー)

多文化背景を持つ住民や団体、
企業が、社会の当事者としてす
すめている、地域と連携した取
り組みと、その中にある協同性
に着目し、今後の社会における
地域と人のつながりを考えます。

主催：特定非営利活動法人地域と協同の研究センター 共催：愛知県立大学多文化共生研究所

*このセミナーは、2019年度より毎年開催している連続セミナーです。日本社会の現状を「生産年齢減少型・少子超高齢・多文化社会」に移行している段階としてとらえ、多様なルーツの人々とともに普遍的価値に基づく、多文化社会にふさわしい協同と協同組合のあり方を探ります。